



2019年12月7日～2019年12月13日

2019年12月16日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

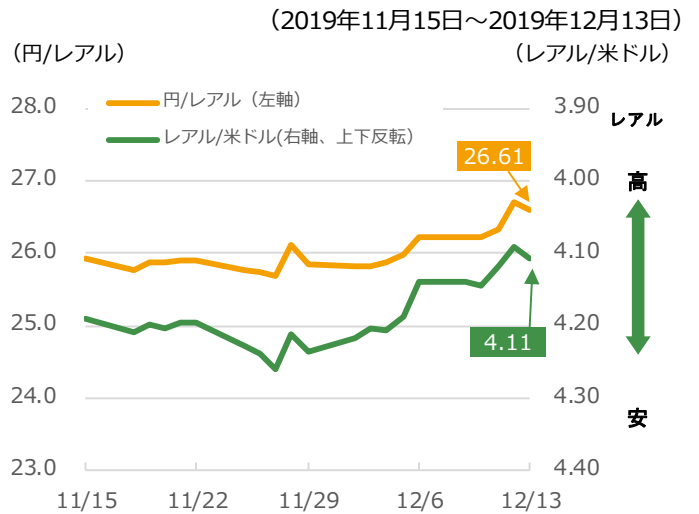
ブラジル中央銀行が12月11日（現地）に全会一致で政策金利を5.00%から過去最低の4.50%に引き下げました。声明文では、経済活動の改善が続いていると述べられていますが、引き続き景気刺激のための利下げが実施されました。一方で、今後の金融政策については、経済活動の進展やインフレ率の見通し次第としており、先行きの追加緩和を示唆する内容は削除されました。また、格付会社のS&Pグローバル・レーティングは、ブラジルの格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げました。

経済指標に関しては、10月の小売売上高や経済活動指数が発表され、ともに前年比で市場予想を上回りました。一部経済指標で改善の兆しがみられており、一連の利下げによる一定の景気下支え効果がみられていると考えられます。

今週の見通し

今週はIPCA-15インフレ率などの経済指標の発表に加え、ブラジル中央銀行の第4四半期のインフレレポートの発表も予定されています。ブラジル・レアルは対米ドルで最安値をつけた後は、中央銀行の為替介入もあり回復基調にあります。引き続き、南米全体の地政学リスクの動向に注意しつつ、ブラジルの改革の行方や景気の改善に注目しています。

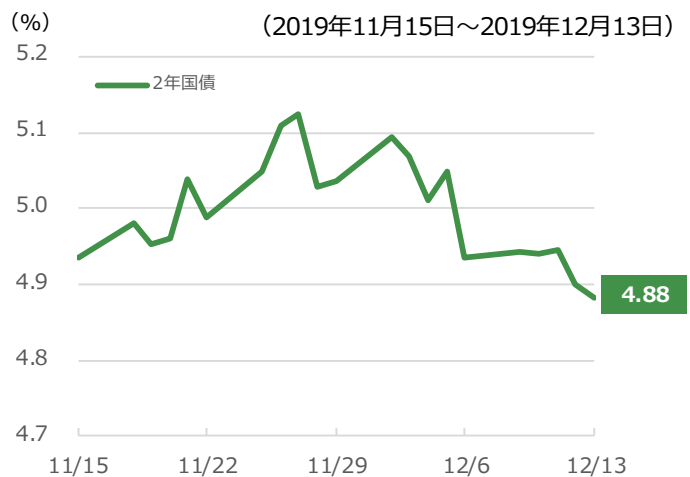
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。